

花ノ木

第 121 号

令和 7 年 1 月 26 日

花ノ木医療
福祉センター

電話 0771-23-0701

FAX 0771-22-8348

H.P <https://kyoto-hananoki.jp/>

前進する年に

— 変動から安定の

時代への対応 —

社会福祉法人花ノ木

理事長 山内



昨年を振り返ると、元旦から能登半島地震の被害に涙することに始まり、あるうことが応援に駆け付けるべく離陸準備の海上保安庁

機と旅客機の衝突事故まで起こりました。

南海トラフ地震臨時情報の発表、過去最も暑かった夏、列島を長時間かけ横断した巨大台風、紅麴サプリ事件、闇バイトなど暗いニュースが駆け巡りました。

世界に目を向ければ、気候変動や紛争による大きな被害があったほか、政治の不安定化が日本をはじめフランス、ドイツ、インド、韓国で生じ、アメリカのマネタリストが復活する政権の動向や、シリアやイスラエルなど中東の変化も今年の気がかりです。

経済では、アメリカ一強の中で、日銀のマイナス金利解除及び引き上げ、株価のバブル期以上の上昇、円安と物価高騰、新紙幣発行、大幅賃金アップと、ここにも大きな変化が起こっています。

甲辰年の甲の勝る激動と耐え忍ぶ年だったことの象徴と思えます。

こうした激動の時代に対応するにはどういった姿勢が必要なのか。塩野七生氏の「ローマ人の物語」に参考があります。初代から200年続いたパクス・ロマーナが、

内政の失敗などによるイタリア本土での内戦で破綻。国民の信用失墜や属州の反乱で大混乱した後、これを終息に導いたのが皇帝ヴェスパシアヌスの登場でした。この統治手法の特徴が、国民や属州民に生活のための安心を与える施策の遂行という常識的な統治に信頼を得る、やるべきことをしっかりと行い、人気取りなど余分なことを行わなかったことであり、その後の安定につながったとされています。

これはお手本とできる姿勢ではないか思います。当法人の成すべきこと、障害のある児童・者の豊かな生活への支援に真直ぐに歩を進めること。今年はどうした姿勢で努力を重ね、物事を安定させていく年と願い、着実な事業推進を進めたいと思います。

当法人としては、コロナ禍で遅れている中期計画の後期計画を見直し、発展させた新しい計画を策定推進します。

まずは、グループホームの新設です。重症心身障害者のものとしては京都府では初めてのものです。この7月には開所できるよう工事が進んでいます。

同じ頃には入所施設的生活環境改善を主目的とした施設整備計画が策定できる予定となっています。加えて、組織改正を行い、3センター化をして、医療福祉センターはもとより、児童発達支援センターと重症心身障害者相談支援センターを独立させ、それぞれが自立して在宅支援の強化に取り組みむこととしており、これに伴う施設整備も計画に盛り込むこととしています。

加えて、地域連携施設整備も行います。地元社会の構成員として餅は餅屋としてできる小さなことから始めていくための場所と思っています。

当法人として、自ら考え、実行していくことを第一に、重症心身障害児者や医療的ケア児、発達障害児童が安心して豊かな生活をおくれる社会づくりの取組に精一杯参加していくこととします。

情報発信事業

第31回地域学習会に参加して

相談係 瀬古 洋



令和六年十一月十六日(土)に情報発信事業「第31回地域学習会」を、講師に白梅学園大学教授の堀江まゆみ先生と、Keep safeの実践で堀江先生と一緒に全国で活動されている弁護士の小出薫先生、新潟市障がい者基幹相談支援センター西の竹田一光先生をお招きし、「知的障害・発達障害を抱える人のトラブル・犯罪事例へのGood WayモデルによるKeep safeプログラムの展開に向けて」というテーマで3部構成により開催し、南丹圏域内外から三十三名の参加がありました。

①TIC(トラウマインフォームドケア)とKeep safeの理論では、性に関するトラブルは、

時代・場所・男女問わず、また被害経験は知らずと起こっており、同時に適切な支援なのかどうかの検証にケアラーケアは必要で、叱って言うことを聞かないというのは本人とのチャンネルが合っていない証拠、Keep safeはチャンネルを合わせる為の認知行動療法であり、トラウマの芽を作らない為に、従来の叱る・諭すより、気づく・育てる支援が適切で、不登校、非・反社会的行動にと発展しないように、見えている行動への対処ではなく水面下にある課題を捉え、トラウマを理解した対応が必要。Keep safeの特色は、対象年齢は合う人なら上限無く「失敗をしない」より「楽しく生きていこう」とdaddyな発達支援であり、特別支援学校の中には自立支援教育等でカリキュラムを組んでおり、本人が一方的に変



わるのではなく、教育者、支援者が一緒に変わることが必要ということでした。

②Keep safeでは、安心の土台がないと展開できないと、今回は38回セッションの内の一部分をダイジェストで体験し、当事者が思ったこと、感じたことを語りながら気づきを促すナラティブ・アプローチとして、「当事者、支援者が繋がりを意識」解きほぐすことを実感できるワークとして、共通テーマで毛糸をキャッチし合うことで繋がりを視覚化。「誰もが心のなかに持つ、三人の賢者と三人の悪者によるグッドサイドとバッドサイドの分かれ道」人はバッドサイドの声の方が大きく聞こえがち。自分にとって損・得で判断。道徳によるどちらかでもなく、また経験から判断し行動に移す自動思考が誤学習になることもあり断ち切る必要がある。「チルススキル」ストレスマックスでも自分を落ち着ける工夫として、バタフライハンド(自分の手を交差し胸をタッピング)、深呼吸などを実践しました。

③段ボール市民劇団による合理的配慮に向けた参加型アプローチでは、障害を持つ方が実際に街中でのトラブルを想定し、知的障害のあるASDの方がカフェでのトラブルを劇で表現。支援者、カフェ店員、警察官など登場人物を参加者がどういった配慮が必要なのか、適切な関わり方はどういったものなのかを段ボール市民劇団と一緒に、

自分ならどうするかを実演してもらい共有し学び合いました。

参加者のアンケートには「実際に体を動かしながらの内容で学びやすかった」「ケアラーケアは初めて聞いたが、必要な視点だと思った」「Keep safeによるインストラクター研修には是非参加してみたい」などがありました。

この学習会の目的の一つであった、南丹圏域でのKeep safeの実践ができるような理解者や支援者の仲間作りといった意味では大きな前進であったと感じています。全国で展開されているKeep safeは京都ではまだ実践がなされていないとのことで、今回の参加者に限らず、声を挙げ続け、困っておられる当事者の方に届くようにできればと考えます。本内容に触れて、関心を寄せられる方がおられましたら花ノ木相談係までご連絡下さい。

講師の先生方をはじめ、参加いただいた皆様、開催に携わりご協力いただいた方に感謝申し上げます。



—経歴をお聞かせ下さい

大学を卒業して、5年ほど酒造メーカーで営業をした後、親戚の建設会社で働きました。大阪の建設会社で2年ほど勉強させてもらってから、親戚の会社にお勤めになりましたが、その後花ノ木にお世話になることになり、平成16年に入職しました。

—会社勤めではどんな事が印象に残っていますか？

酒造メーカーの頃は、バブルがはじける前の時代で、おおらかで、躍動的な時代でした(笑)

酒造メーカーでは、宮崎県で置き回りという仕事も経験しました。1升瓶10本入り木箱を百以上トラックに積んで、酒屋さんへ営業で売って回る仕事です。靴の中敷きがボロボロになるほどの力仕事でした。椎葉村という秘境へ行く事もありましたが、体を動かす事が好きなので、それは面白い経験でした。ただ、気が短いので上司と喧嘩をして辞めてしまい、親にも心配をかけた。それでも花ノ木に勤めて20年です！

—花ノ木の印象は？

福祉施設のせいなのか、みんな優しいと思いました。また、役所のようにきちんとしているという印象でした。現場での研修で通所、病棟など順番に経験させて貰い、利用者さんの車椅子を押して出かけたりしたことが、楽しい思い出です。

—事務部長になられて、今後の抱負は？

正直なところ、私に何ができるのか：定年まであと4年、ショートリリーフ

として、次に繋ぐまでの間かなと思っ
ています。これまでの事務部長は、何
から何まで全てをよくご存じで、きつ
ちりコントロールされてきたと実感し
ています。でも物事は、必ず行き過ぎ
る面があつて、意図する以上にコント
ロールが効きすぎてしまうというか、

シリーズ 「この人にきく」

あさだ いさお
事務部長 浅田 功 さん

今回は、昨年7月に事務部長に就任された
浅田 功さんにお話を伺いました。



出れば、また次の人がうまくコントロー
ルしていけば良い、リセット&リポー
ンが必要な時もあるという事です。
—各部署から多くの相談を受けてお
られますね

一から話を聞くことによって、一緒
に考えようという思いでいます。よく

皆が頼り切ってしまうという面もあつ
たと思います。私になって、コントロー
ルが効かず、ユルユルになっていると
思います。一方でそれが私が事務部
長になった意味でもあるのかなと都合
よく思っています。緩めすぎて弊害が

言えば、私が十分でないからこそ、話
しやすいという事もあるかもしれませ
ん。

—法人、センター両方の経験を得て、

職員へのアドバイスをお願いします
組織は何もしないと常に悪い方悪い

方へと回ろうとする水車みたいなもの
だと感じています。それを止めておく
だけでも大変で、さらに良い方向へ回
すととなると、尚更しんどいことです。
組織の運営は、悪い方へ回り始めると、
勢いがつき止められなくなりやすい。そ
れに一人一人が抗わないといけないと思
うのです。少しでも前向きに考えて
行動してほしいです。「みんなの施設な
んだ」という意識を持って貰いたいの
思っています。今は過渡期で花ノ木が
変わる時期がきています！うまくいか
ない事もありますが、良くなるかと信じ
て頑張つて欲しいです。良い方向に組
織を回せるように頑張つていきたいと
思っています！

—趣味、ストレス解消方法は？

美味しい物を食べに行ったり、服を
買ったたり・アウトレットが大好きなん
です。セール価格を見るとつい買いた
くなる。困った事に今は無駄遣いがス
トレス発散になっていきますね。走る事
も好きで、週1回は必ず走るようにし
ています。また犬と猫を飼っているん
ですが、それらを文字通り舐めるよう
に可愛がっています。これは最高の癒
しです。

—インタビューを終えて

浅田部長のアドバイスを聞きし、
花ノ木の組織の一員として前向きな思
いで励んでいかなければと鼓舞してく
ださいました。貴重なお時間を本当に
ありがとうございました。

掲示 板

◆情報発信事業 第四回在宅向け はなのき料理講習会



令和六年十一月十三日（水）情報発信事業「第四回在宅向け はなのき料理講習会」を開催しました。

今回も、花ノ木調理師による調理実演のあと、参加者の皆さんに調理体験をしていただきました。調理実演では、酵素剤を使用した「やわらか照り焼きチキン」電子レンジで簡単「洋風オムレツ」の2品を紹介しました。照り焼きチキンは酵素剤を使用することで鶏もも肉が柔らかくなることに参加者の方々は驚かれ、洋風オムレツは食材を混ぜてレンジ加熱するだけで調理ができることに、「焼かずに簡単に出来るのがいい」との声があげられました。調理体験では、ミキサーを使用したポタージュスープ作りをしていただき、お麩を使用することで濃度のあるポタージュスープが出来上がることに感心されていました。

今回の料理講習会の開催に向け、何度も試作を重ね、自身が納得のいくものであり、参加者の方々にも喜んでいただき非常によかったです。アンケートの



中に「次回もまた参加したい」「楽しく学ぶことができました」等の感想をいただきました。参加者が三名ということもあり、会話も交え終始和やかな雰囲気講習会ができましたが、今回参加いただいた方からの評判が広がり、より多くの方々に参加していただき、花ノ木の調理や「介護食」について知っていただきたいと思いました。

今後も料理講習会に限らず、情報発信事業に積極的に取り組み、「介護食」についての専門的知識を地域に広げていきたいと思います。

（給食係 調理師 川勝 芳嗣）



花ノ木の動き

（令和六年十一月一日〜令和六年十二月三十一日）

- 11/6 所内研修「虐待防止・身体拘束廃止」理事會
- 12 情報発信事業
- 13 「在宅向け はなのき料理講習会」
- 14 所内研修「感染対策（基礎技術）」
- 16 情報発信事業「第31回地域学習会」評議員會
- 22 停電時対応訓練
- 27 所内研修「健康講座」
- 12/4 病棟クリスマス会（〜20）
- 11 所内研修「防犯対策」
- 12 医療管理棟等防災訓練
- 13 仕事納め式

編集後記

少し恥ずかしいのですが、数年ほど前から、あるキャラクターにハマってしまっています。気づけば、スマホの待ち受けやキーケース、エコバックなどなど、そのキャラクター柄の持ち物がどんどん増えてきています。

キャラクターの可愛さだけでなく、どこかクールなところが魅力的です。また、そのキャラクターが登場する漫画の中には、人生の本質をつくような深い名言がたくさんあることでも有名です。世の中は不公平なことばかりだと不満が募ってくることも正直ありますが、そんな時はこの言葉を思い出しています。

配られたカードで勝負するのさ、それがどういう意味であれ。

持って生まれたものや自分の能力など、あるもので社会を生きていくしかないという名言です。無いものねだりや能力への限界などを感じることも多くありますが、ある意味開き直って、前向きに生きていかなければと教えてくれています。

そんな多くの名言を語っているキャラクターグッツの持ち物は、これからもまだまだ増えていきそうです！

（編集委員 渡邊 絵里）

You play with the cards you're dealt...



Whatever that means.